

防災業務におけるGIS 高度活用人材育成プログラム (2日間プログラム)

日時	科目	概要
1日目 約30分	オリエンテーション	本プログラムの概要・構成を説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・本プログラムの主旨・目的・目標の説明 ・情報共有及び空間的思考の必要性 ・プログラムの構成・内容の説明 等
1日目 約30分	防災業務におけるGIS活用に関する法制度上の課題(災害時援護者情報の個人情報保護等)	国におけるGISに関する取組みを紹介する。特に防災分野におけるGISを活用に関連する法制度(個人情報保護、二次利用に関するガイドライン等)について紹介する。
1日目 約90分	防災分野におけるGIS活用方策	防災分野(特に予防・事前・応急対策)における基本的な業務事項、地理空間情報・GISの活用方針、活用ケース等について、先進事例等を通じて学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・防災分野におけるGIS活用の基本的考え方 ・組織・体制と情報伝達・共有のあり方 ・防災分野におけるGIS活用の実態・課題 ・先進活用事例 等
1日目 約240分	GISによる災害予防・事前対策演習	GISを活用した対策立案プロセスを学ぶ。その上で、GISソフトウェアの基本操作の説明を行い、特定の地域を対象とし、実際の地理空間情報を活用して、災害の予防・事前・応急対策にかかわる演習を行う。 【GISを活用した対策立案プロセス】 【対象地域の説明】 【演習1: 被害想定地域の人口・世帯数の推計】 【演習2: 被害想定地域の被害状況の把握】 【演習3: 避難所の収容人員の評価】
2日目 約150分	GISによる災害予防・事前対策演習	1日目午後引き続き、演習を進める。 【演習3: 避難所の収容人員の評価】 【演習4: 災害時避難者の避難所までの最短ルート検索】 【グループワークの課題提示】
2日目 約150分	GISによる災害予防・事前対策演習	【グループワーク】
2日目 約60分	グループディスカッション	現状把握・空間分析を踏まえ、今後、自らの地域等での災害への予防・事前・応急対策として実施すべき事項について企画・立案するためのディスカッションを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ提示 ・グループディスカッション ・発表・講評
2日目 約30分	ラップアップ	全体を振り返り、本プログラムで得た知識・ノウハウの確認や、本プログラムの評価及び今後の取り組みのあり方について議論・確認する。